

# 津波ハザードマップ

海田町 令和3年3月

ハザードマップに関するお問い合わせ先  
海田町 総務部 防災課  
住所: 安芸郡海田町上市14番18号 / 電話: 082-823-9208

広島県は、津波防災地域づくりに関する法律第53条に基づき、既に公表した「津波浸水想定区域」を警戒避難体制を特に整備すべき区域として、「津波災害警戒区域」に指定しました。この指定を受け、町では町民の皆さまが津波の危険がある時に、安全な避難ができるよう、津波ハザードマップを作成しました。  
ハザードマップを参考に、地震が起きたとき、津波の可能性があるとときにどのような行動を取れば良いかを家族や地域の方々と一緒に学んでください。  
なお、津波浸水想定区域図は、ある一定の条件で想定した結果です。実際の災害では、浸水想定区域外であっても災害が発生する可能性があるため、できるだけ高い場所への避難を検討してください。

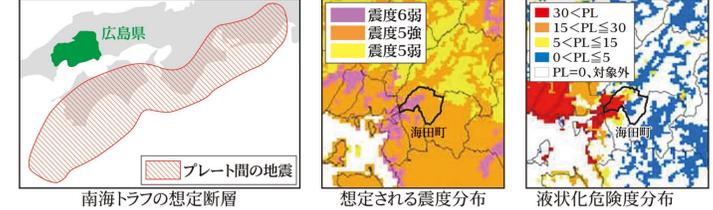
## ハザードマップの使い方

- 自宅の位置や避難場所の確認**  
自宅の位置をはじめ、公共施設や学校などの避難場所や避難できそうな場所、道路の状況などを確認しましょう。
- 非常持出品の準備**  
家族構成に合わせた必要な物資を確認し、袋に入れていつでも持ち出せるようにしておきましょう。
- 危険箇所の確認と避難経路の設定**  
崖や高い塀など、地震の時に危険な箇所を避け、高台へ避難できる経路を複数設定しましょう。
- 防災メモの記入**  
日頃から避難のタイミングや避難場所を確認し、わが家の避難計画を作成しましょう。また、「防災メモ」に災害時の避難先や家族等の連絡先、連絡方法を記入しておきましょう。
- 避難経路の安全確認**  
家族や地域で話し合いながら、設定した避難経路を実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所が見つかったときは、経路を見直しましょう。

## 地震・津波について知っておこう

### 海田町を襲う津波

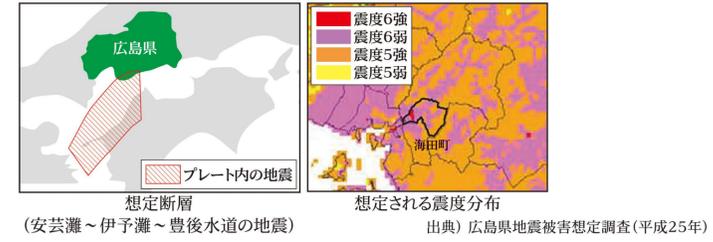
1. 南海トラフ巨大地震による津波  
太平洋で発生した津波が四国を回って瀬戸内海に入ってくるため、到達するまでに**時間がかかります**が、地震の規模が大きいため**高い津波**がきます。  
★強い揺れで堤防が壊れた場合には、尾崎川沿いで、数分後に浸水する可能性があります。



揺れている時は、地震がどこで発生したかは、わかりません。  
強い揺れを感じたら、まずは「津波」を考え、高い場所への避難を始めましょう。  
海田町に津波の危険がある地震です  
★町域で強い揺れ!!  
★低地では、液状化が予想!!  
避難する時には、通行できない道路があることも考えておこう!!

### 海田町を襲う津波

2. 瀬戸内海域活断層等地震による津波  
瀬戸内海で発生するため、震源が近い場合は、**短時間**で到達します。また、町域で強い揺れが想定されています。



### 津波の特徴

津波の破壊力は凄まじい  
●普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。  
●引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。

### 津波の速度は速い

●津波が陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。  
●津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。

### 津波は繰り返し襲ってくる

●津波は長い時間繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいとは限りません。  
●一度波が引いても、大津波警報・津波警報・津波注意報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

### 津波は河川を遡上する

●津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上(逆流)することがあります。  
●遡上した津波が、河川堤防を越えて沿岸地域に大きな被害をもたらすことがあります。  
●大津波警報・津波警報・津波注意報が解除されるまでは、海岸はもちろんのこと、河川にも絶対に近づかないでください。

### 津波の前に引き波があるとは限らない

●津波は引き波から始まるとは限りません。  
●地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくる場合があります。

## 地震が起きたときの行動

### 地震発生時にとるべき行動ポイント

地震は、いつでもどこでも起こります

**緊急地震速報**

**0分**  
地震発生

**1分**  
揺れがおさまったら

**3分**

**5分**

- まずは、身の安全
- 割れたガラスに注意し、厚手のスリッパやスニーカーをはく。
- 家族の安否確認  
●火の元確認・初期消火  
●ドアを開けて出口を確保
- 津波災害警戒区域から避難  
●安芸灘の地震では、すぐに津波が襲ってきます。  
●避難をしてから情報を集めましょう。
- 津波の危険が無い地域では  
●隣近所の安否確認  
●要配慮者の避難支援  
●家の下敷きになった人の救出

### 津波避難時の心得



### 非常持出品



## 防災メモ

記入したらコピーするか携帯電話等で撮影して保存

### 避難場所・集合場所

災害の種類	避難場所 (第1候補)	避難場所 (第2候補)	集合場所 (避難場所で出会えないとき)
地震			
津波			
洪水			
土砂災害			

※台風の際は、高潮にも注意しましょう

### 家族・知人の連絡先

なまえ	血液型	電話番号	メールアドレス	メモ

### 家族が離れ離れになった時の連絡先:

●被災地外の親類や友人に連絡の中継をしてもらおう  
被災地内では電話がつながりにくい状況でも、被災地外への連絡は比較的つながりやすい場合があります。  
遠くに住む親類や友人を連絡先としてあらかじめ決めておき、いざという時に中継してもらう方法も有効です。

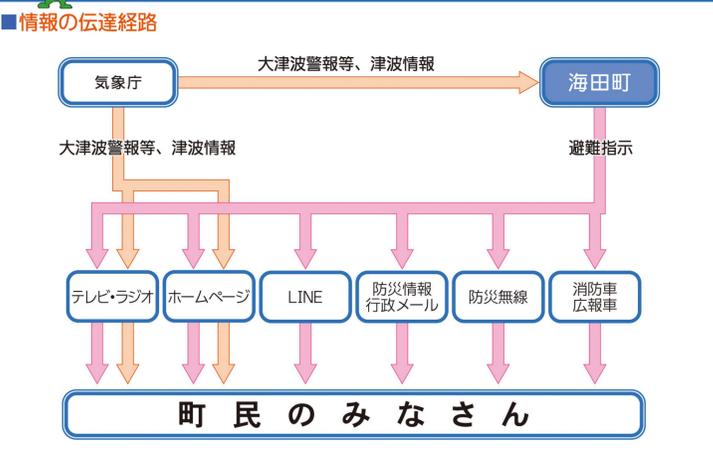
### 家族と連絡を取る方法

●災害用伝言ダイヤル [171] 安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます

●災害用伝言版  
NTTドコモ KDDI: au ソフトバンク 楽天モバイル

●携帯電話から専用の伝言版サイトで、伝言を残すことができます

## 地震・津波発生時の連絡体制



### 津波の危険があるときは、警報等が発表されます

●津波警報・注意報  
津波による災害の発生が予想される場合は、気象庁より大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されます。

種類	予想される津波の高さ 【数値での発表 巨大地震の場合の発表】	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超 (10m<高さ) 10m (5m<高さ≦10m) 5m (3m<高さ≦5m)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m (1m<高さ≦3m)	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	●海抜の低いところでは津波による浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m (0.2m≦高さ≦1m) (表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 ●養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆します。

※海田町では、10mを超える津波は想定されていません。

### 情報の入手先

災害が発生したときには、テレビやラジオ、インターネットから色々な情報が発信されます。いざというときに備えて、色々な情報提供先を見ておきましょう。

■インターネット

海田町 気象・災害注意情報 [検索]

避難場所の情報やハザードマップの情報など、防災・防犯・安全に関わる情報を掲載しています。

広島県 防災Web [検索]

県内の避難情報、気象情報、観測情報、地震・津波情報、交通・ライフライン情報を提供します。

気象庁 [検索]

津波や地震の情報を提供します。

### 事前に登録しておきましょう

■海田町防災情報メール  
町では、住民の皆さんに、緊急の避難情報や地域の防災・防火情報等をEメールで配信するシステムを導入しています。  
【送信内容】  
1. 緊急速報: 地震・津波・特別警報 2. 気象情報(海田町関連): 各種警報、注意報等  
3. 雨量・水位・土砂災害警戒情報 4. 防災無線情報(町内放送): 町内放送 (防災情報) 内容をEメールで配信します

【登録方法】  
QRコードを読み取り、空メール (件名・本文不要) を送信してください。  
※QRコードが読み取れない方は、bousai.kaita-town@raidan2.ktaiwork.jpに空メールを送信してください。  
※メールを使えない、お持ちでない方は、電話やFaxにて同じ内容をお伝え出来ます。希望される方は防災課まで直接ご連絡ください。

■LINE  
町のLINEでも防災情報メールと同様な情報を配信しています。

●NHK防災アプリ [NHK防災アプリ 検索]

## 日頃の備え

平成7年に発生した、阪神・淡路大震災では、神戸市内の犠牲者のうち、約8割が建物倒壊や家具転倒などによる窒息・圧死であり、これらの9割がほぼ即死といわれています。つまり、事前の備えが被害を大きく分けていました。  
また、建物倒壊や家具転倒などによって、閉じ込められたりケガをしたりすると、津波から避難することも困難になります。

### ●家具の配置のポイント

- 大型の家具や家電は、転倒防止器具で固定する。(固定方法は、固定器具の説明書をよく確認する。)
- 金具で固定。
- つかえ棒で固定。
- ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。
- 食器や本などは、中のものが飛び出さないようロックをつける。
- 金具で固定。
- 転倒防止シールなどで固定。
- 収納は重いものを下へ、軽いものを上に入れる。(家具転倒の軽減)
- 寝室や食事をする場所、避難経路になる場所に、大きな家具や家電はなるべく置かない。(家具の配置の工夫)

### ●我が家とその周辺の点検と対策

- 屋根  
屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。
- 窓ガラス  
飛散防止フィルムを貼ったり、厚手のカーテンで割れた窓ガラスの飛散防止を行う。
- 耐震診断  
専門家にチェックしてもらう。
- ベランダ  
植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。
- ブレーカー  
家のブレーカーの位置を確認しておく。地震を感じると電気を遮断してくれる「感震ブレーカー」を設置しておく。
- ブロック塀  
土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。
- プロパンガス  
ボンベを鎖で固定しておく。